

沼歯第51号
平成28年10月4日

静岡県歯科衛生士会
東部支部会員 各位

沼津市歯科医師会
会長 岡山一成
学術担当理事
河野英生

沼津市歯科医師会 第三回学会のお知らせ

秋涼爽快の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
このたび、下記日程にて学術講演会を企画いたしました。
今回は、土屋和子先生をお迎えし、神経言語プログラミング(NLP)を歯科医療界に向けアレンジした“デンタルNLP®”について御講演いただきますので、多くのご参加をお待ちいたしております。

記

日 時 平成28年11月3日(木曜日) 午後1時30分～(4時間予定)
会 場 沼津市歯科医師会会館 大講堂
演 題 『歯科医療の“パラダイムシフト”と“デンタルNLP®”を学ぼう!』
講 師 土屋和子先生

沼津市歯科医師会 第三回学会参加申込書

沼津市歯科医師会事務所 FAX 055-963-5332

静岡県歯科衛生士会 東部支部会員

氏 名 _____

※会場設営の都合上 参加人数の制限がございますので定数を超えた場合お断りする場合がございますので、ご了承ください。

参加される方は、10月17日(月)までに沼歯会事務室まで送信お願い申し上げます。

土屋和子先生 抄録：

日本最古の義歯は、1530年代に作られた木製で蜜蝋や石などを用いて作られたらしい。いろいろな知恵をもって失った歯を補う治療が広まり、スウェーデンのペル・イングヴァール・ブローネマルク教授が微細血流の研究から、ウサギの骨とチタン製器具の結合を発見したのが1952年。その後、様々な研究を経てOsseointegrationによる口腔インプラントが開発され、現在に至ります。

さて、現在は超高齢社会になり65歳以上が人口の1/4を占め、介護が必要な人口も増え続け、使われる医療費もうなぎ登り。歯科医療界では、歴史的に治療が支配的であった時代から『予防の時代』になり、カリエス予防や歯周病予防の重要性を認識するとともに、口腔疾患が全身に及ぼす影響も解明され、特にマイクロバイオームの概念は疾患を理解するには重要なキーワードになります。口腔ケアを担う歯科衛生士は責任重大ですし、その環境を確立していく歯科医師やコ・デンタルスタッフの役割も“今まで通り”では済まされない。全身の健康や健康寿命を全うするために歯科医療界から健康情報を提供する。それは患者さんの人生に関わること。そこにはコミュニケーションスキルを高めることも必須です。

歯科医療の『パラダイムシフト』を考察し、『デンタルNLP®』をご紹介したいと思います。

【講師プロフィール】

1957年神戸市出身 1977年より歯科衛生士 キャリア 39年
関わった歯科医師 400名以上 講演活動 1,600回以上 書籍出版多数

日本初“プロフェッショナルフリーランス歯科衛生士”と評価される
現在、都内3件の歯科医院に勤務。

全国を講演活動しながら、日本国民の健康に貢献するため

「日本歯科医療人育成協会」を設立し人材育成に関わる。

NLP（神経言語プログラミング）を歯科医療界に特化したデンタルNLP®主宰



【2008年以降書籍】

プロフェッショナルハイジニストワーク 2008年 医歯薬出版
歯科衛生士ベーシックスタンダード：ホワイトニング 2011年 医歯薬出版
プロフェッショナルコミュニケーション 2013年 医歯薬出版
歯科衛生士ベーシックスタンダード：審美歯科 2013年 医歯薬出版
長期メンテナンス症例から考える！経過観察の意味 2013年 医歯薬出版
歯周病を治すSRP 2014年 医歯薬出版
DENTAL ARCHIVES nico 2015年 クインテッセンス出版
プロフェッショナルワークバランス 2015年 医歯薬出版
歯科衛生士の仕事 2016年 グレードル